

東京桑野会会報

●2025年5月1日発行●発行・編集人 石井俊一●発行所 東京桑野会事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目8番15号 青柳ビル7階 石井綜合事務所内



安積歴史博物館（旧本館）
AI 作成スケッチ



No.47

- ①桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓の親睦の会であること
- ②会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③何らかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

ご挨拶

東京桑野会会長
浅川 章（76期）



「6割の人が1カ月に1冊も本を読まない」文化庁が実施した2023年度の国語世論調査でそんな結果が明らかになった。同調査によると1カ月に電子書籍を含め何冊の本を読むかという問いに対し、62.6%の人が「読まない」と答えた。同調査では、どの世代でもまんべんなく読書離れが進む中、若年・中年世代ではスマホ・タブレットが本に取って代わり、顕著に本から遠ざかっているという構図が明らかになった。衝撃的な調査結果といえよう。

現代は情報が洪水のように溢れていて、「知っている」「知らない」ということに過度に敏感になっている社会環境にある。短文でショート動画や画像を投稿

するSNS（ネット交流サービス）が爆発的に広がったことで、私たちは知らぬ間にスマホで容易にSNS特有の情報を得ることに慣れてしまった。「長文離れ」というべき現象が日本人に起きていると識者は指摘する。

インターネット上でデマが横行する現代社会、読書の機会が減ることで国民の思考力や批判力が鈍磨し、事実を見極める力が落ちたり、正しい政治判断が出来なくなったりすることが懸念され、ひいては民主主義の土台を揺るがしかねないと危惧される。危ういかな日本。

皆さん、まず一冊の本を手にとってみよう。

東京桑野会2025（令和7）年度定期総会・懇親会のお知らせ

東京桑野会では下記の要領にて、定期総会・懇親会の開催を予定しております。一昨年以前は目白の椿山荘で昨年は目黒の雅叙園を利用しましたが、本年は更に場所を変更しましたのでお間違えの無きようお越しく下さい。

- (1) 2025（令和7）年6月28日（土曜日） 15:30 受付開始 16:00 総会開始
- (2) 場 所：千代田区一ツ橋の教育会館9階「喜山倶楽部」
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館 9F
Tel. 03-3262-7661（代表）、地下鉄神保町駅A1またはA8出口より徒歩3分
- (3) 会 費：懇親会費 一般¥8,000 卒業期別に金額に差異あり
学生は無料、121期以降の若手の会員は半額¥4,000（年会費は別に納付）
- (4) 懇親会：立食（年配者のためのテーブル席を用意）、ビッフェスタイル
- (5) タイムスケジュール 時間は多少前後することがあります
15:30 ～ 受付開始
16:00 ～ 令和7年度定期総会 会則変更について討議
16:30 ～ 講演会 講師：渡辺 エリナ（118期）氏
17:00 ～ ご来賓挨拶・懇親会
19:00 お開き、解散

※ 総会と講演会には椅子席を用意し、懇親会移行時に立食パーティー形式に配置します。

- (6) その他：年会費は2,000円で懇親会費とは別額です。会計事務処理の省力化のため、懇親会費と年会費は合わせて、会報と共に送付する振込用紙にて郵便局より振り込んでください。当日現金支払いも可能です。
喜山倶楽部の公式ホームページ ⇒ <https://kizan-club.com/>
当日の新規入会や飛び入り参加も大歓迎です。知人・友人の同窓生ともお誘いの上、どうぞご参加ください。

○昨年2024年（令和6年）は、母校創立140周年記念の年でした。8月30日から9月1日までの3日間、140周年紫旗祭が盛大に開催されました。クラス対抗の企画では、級旗・クラス展示・舞台でのパフォーマンスを競い合い、優勝したのは1年4組でした。

○2年次7クラスの生徒は、12月8日から5日間の台湾修学旅行を実施しました。台北市の松山高級中学校や建国高級中学校（いずれも日本の高等学校相当）の生徒たちと交流し、初めての海外の友人ができた感激の時を過ごしました。

○県立安積中学校の併設に向け、着々と準備が進みました。2023年11月には安積歴史博物館（旧本館）南側にあった図書館や自転車置場などが撤去されて更地となり、同年12月からは基礎工事に着手。2024年10月には建物本体の建築が完了し足場がはずされ、内装工事や什器の搬入を経て完成検査、今年2025年1月に完工しました。今年1月に県立安積中学校の入学者選

抜試験が実施され1月末には合格者発表。そして、はれて本年2025年4月に、60名の新中学1年生が入学しました。



2024年3月 新中学校校舎基礎工事



2025年1月 新中学校校舎完工（南西側から）



2025年1月 新中学校校舎完工（北西側から）

○2024年の大学進学状況ですが、主な進学先として東京大学5名、東北大学33名が合格しました（数字は既卒含む）。今年2025年の進学状況は、東京大学4名、東北大学24名が合格しました（同上）。全国的に見ても屈指の進学校となっています。

○今年2025年4月8日、安積高校141期生280名と、中学校1期生60名は共に入学式を挙行了しました。おめでとうございます。校長と副校長のお二人は、高校・中学校を兼任します。徽章・校章や校歌・応援歌は、従来の安積高校のものをそのまま両校共有して利用し

ます。当校には制服はなく、自由服となります。

会員消息

○2024年度（令和6年度）に連絡がありました方の分を掲載します。
逝去されました会員のご冥福をお祈りします。
敬称略（卒業期順）

物故者氏名	期	逝去日
山本 徳	51	不明
菊池 武	58	不明
黒河内 潤	58	不明
佐藤 六郎	60	2025年1月5日
湯浅 譲二	60	2024年7月21日
相楽 寿男	65	2023年6月
西山禮二郎	70	2024年7月27日
佐藤栄佐久	71	2025年3月16日
飯淵 茂	78	2021年8月7日
千葉勇治郎	88	2024年7月17日



画：故・佐藤六郎（漫画家 60 期）



桑野会会長 ご挨拶に 代えて

安積桑野会 会長
笠間善裕（84期）

事務局並びに会報編集委員会の不手際により、ご挨拶文の入手ができませんでした。お詫び申し上げます。本稿では、昨年2024年9月に発行されました「桑野会報第55号」にご本人より投稿がありました挨拶文をそのまま転載します。以下、ご参照ください。

「桑野会報」第五十五号の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。会員の皆様には日頃より本会活動にご理解とご協力を賜りまして有難うございます。心から御礼申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が感染法上の五類に変更された後、それまでコロナ禍で中止されたり、規模が縮小されていた各地桑野会の総会も、コロナ禍以前と同様に開催されるようになってきました。再び多くの

方々の元気な顔を拝見するとともに、母校に対する熱き想いに接することが出来、大変嬉しく感じているところです。

既に桑野会だよりにててもご報告申し上げましたが、安積高校は、本年4月に新一年生280名が第140期生として入学し、9月11日には、創立140周年を迎えます。既にご存知のとおり、来年（令和7年）4月には、県立安積中学校（一学年、30名のクラスが2クラス合計60名）が中高一貫校として併設開校予定であることから、創立140周年記念事業を令和7年9月に行うこととなり、PTA・桜桑会とともに記念事業実行委員会を立ち上げ、在校生にとり人生の糧となるような記念事業にしたいと考えて進めております。

また、現在、中学校校舎建設が旧本館南側にあった図書館（桑野文庫）を取り壊した跡地に進んでおります。併設される中学校においては、高校の授業の先取りはせず、個々の生徒の学びを深掘りする教育を行うと聞き及んでいます。県立安積中学校が、母校にどのような新風を吹かせてくれるのか楽しみにしているところです。

また、令和3年及び同4年の福島県沖地震により被災した旧本館について、所有する財団法人安積歴史博物館が、皆様のご協力を頂き、保存修理工事とともに耐震補強工事を進めています。

6月に工事中の旧本館建物内部を見学する機会がありましたが、三階屋根裏の空間の大きさや、柱や棟に刻まれている増築あるいは修理時の古い年号や番号に、「桑野御殿」と呼ばれた由縁と125年の建物の歴史を感じ、あらためて旧本館は安積精神（質実剛健、文武両道、開拓者精神）の象徴であるとの想いを強く致しました。旧本館を長きにわたり保存するとともに安積精神を伝承したく考えておりますので、今後も引き続きご支援頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

お願いのご挨拶となつてしまいましたが、安積桑野会会員の皆様の益々のご健勝を御祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。
（2024年9月発行「桑野会報第55号」より転載）

故郷を味わう、故郷に触れあう

そば うどん 酒処

鞍手茶屋

昼はボリュームたっぷり
ヘルシーな そば・うどん
夜は品揃え豊富な
東北の地酒で一杯

大手町店 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービルB1 ☎03-3213-2385
中山峠店 〒963-1304 福島県郡山市熱海町国道49号線中山峠 ☎024-984-3774 〈店主〉上野千恵子



校長ご挨拶に 代えて

安積高等学校 校長
森下陽一郎

事務局並びに会報編集委員会の不手際により、ご挨拶文の入手ができませんでした。お詫び申し上げます。プロフィール等を記してご挨拶に代えさせていただきます。

2024年（令和6年）4月1日に、

前任福島西高等学校の校長より赴任しました。本校の卒業生ではありませんが、2007年（平成19年）4月から2012年（平成24年）3月までの5年間を本校の理科教員やクラス担任、進路指導主事として勤務しました。昨年2024年度の東京桑野会の総会と祝賀会に来賓として参加し、祝辞とご挨拶を述べられています。以下、ご本人の挨拶要旨より引用します。

アフターコロナとなり1年が過ぎました。学校におきましては、コロナ禍以前に行われていた教育活動が滞りなく行われています。しかしながら、現

在の小学校2年生以上の児童・生徒は、就学後にコロナ禍による何らかの影響を受けており、発達段階に応じた教育活動が充分にできなかった世代でもあります。その負の影響を少しでもリカバリーできるよう、丁寧に対応しているところです。桑野会の皆さまのご協力を頂きながら、安高の歴史と伝統を更に発展させるために、校長としましては、教員の更なる指導力向上と生徒の自己実現、そして県立中学校の併設開校へと信頼ある学校づくりに邁進してまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。（会報編集委員会編）

令和6年度 創立140周年記念 東京桑野会総会報告

東京桑野会副会長
渡邊 隆一郎（81期）

昨年の令和6年6月14日（金曜日）、目黒川沿いにあるホテル雅叙園東京において総会及び記念式典が開かれた。これまで40年以上に亘って総会が開かれていた目白椿山荘から目黒に移ったわけである。東京には江戸の昔から五色不動といわれる不動様が祀られている。日黒、日白は言うに及ばず日赤、日黄、日青がありそれぞれ信仰を集めている。

17時30分、小林伸久東京桑野会副会長（84期）の司会により総会が始まった。桜井淳東京桑野会副会長（78期）の開会の辞の後、物故会員への黙祷。つづいて来賓の紹介があった。

学校長森下陽一郎先生、安積桑野会会長笠間善裕氏（84期）、校内幹事長渡部正一先生（95期）、安積歴史博物館館長橋本文典氏（84期）、東京藝術大学名誉教授船山隆先生（73期）、関西桑野会元会長鈴木直先生（77期）、関西桑野会事務局長名木榮一氏（82期）、東京花かつみ会会長佐久間裕子様、同じく副会長橋本良子様、同じく副会長毛塚貴子様。当日の記念講演講師の横浜市立大学名誉教授矢吹晋先生

（70期）と記念総会にふさわしく華やかであった。

つづいて議事に移り議長に佐藤重夫東京桑野会副会長（79期）を選んで、会務報告、決算予算報告も滞りなく進み、浅川章会長の続投も賛成多数で可決された。

浅川会長の挨拶は極めて短く、「とにかく若い人の参加がとても少ない、女性は誰も来ない。これでは160周年の展望も難しい。150周年を目指して知恵を出してもらいたい」一同納得の言葉であった。

総会も無事終わり、つづいて母校創立140周年記念式典へと移った。司会を上石利男元幹事長（80期）が務め、記念事業実行委員長の和田正哉東京桑野会副会長（77期）が記念式典代表挨拶を行った。記念事業にかかわった会員各位に感謝の弁を述べたのである。大矢真弘東京桑野会副会長（88期）による校歌指導で全員大きな声で斉唱した。武漢ウイルス下では声も出せなかった。久しぶりで校歌を歌えて全員晴れ晴れとなった。

記念式典のメインイベントは矢吹晋横浜市立大名誉教授（70期）による講演である。題して「数奇な入来文書の運命～朝河史学はなぜ忘れられたか」講演冒頭で矢吹先輩は「もうすぐ戦後の歴史教育は根本から変わる」とおっしゃった。なぜか世界的な歴史学者朝河貫一博士（4期）の研究してきた成果をことごとく無視してきた戦後の日本の歴史学者を痛烈に批判したの

だ。大東亜戦争は唯一アメリカにのみ敗れた。大日本帝国は連合国占領軍、実質アメリカ軍によって二度とアメリカに歯向かわないように解体去勢された。その体制に利を見出した左翼政治家、企業人、学者、マスコミを戦後利得者というが、日本の歴史も全面的に改ざんしてしまったのだ。事実に戻そうという正常化に対する抵抗も大きかった。彼らにとつて利権が無くなることを恐れたのだ。その牙えたるもの東大歴史研だという。朝河貫一を読んではない。

矢吹先輩は朝河の研究した「ペルリ来航」をはじめ「古事記」「入来文書」を例に挙げ事実を追求した朝河貫一の著作を読めば、戦後の覆された日本の歴史は正常に戻ると熱弁を振るわれた。国史を極めるには朝河貫一を読まなければだめだ。先輩の熱い言葉に共感する出席者たち。朝河研究の第一人者の矢吹先生の話は説得力があった。私としても納得の1時間であった。盛大な拍手で講演は終了した。

引き続いてこれからお楽しみの祝賀会。会食である。司会は大矢氏に代わり来賓祝辞は安積桑野会の笠間会長。会長の挨拶。新入生は140期生であること。中高一貫校になること。寄付をお願いしたいと率直に述べられた後、安積には質実剛健、文武両道のほかに開拓者精神があるとおっしゃった。なるほどそのとおりである。つづいて森下陽一郎校長の挨拶。中高一貫教育には正直プレッシャーを感じているが、

東京の進学校麻布、開成といわれるような安積を目指したいと。

ここで乾杯となった。音頭は出席最年長の原信夫氏（64期）。懇談の時間となり食事が出てきた。今日は。全員着席でフレンチのコース料理である。食事の途中であるが関西桑野会の鈴木元会長の挨拶。東京花かつみ会の佐久間会長の祝辞と続いた。食事となると酒など差しつ差されつ笑顔が会場に広がっていく。

校歌、紫の旗ゆく所を腹のそこから声を絞り出し謳った。115期の安孫子哲教副幹事長が紙芝居「注文の多い料理店」宮沢賢治を熱演、拍手喝采。また校内幹事長の渡部正一氏（95期）の安積クイズも面白かった。終りに近いところで出席若手の紹介、一番若手が127期遠藤祐太郎さんと四家武彦くん。133期森大樹くん、もっと多くの若手の参集が欲しいところだ。私も自戒をこめて老人クラブになって若者から敬遠されぬよう頑張る。

フレイフレイ安積。フレイフレイ安積。21時過ぎにお開きとなった。

これからのAI時代を どう生きるか

大原 剛（113期）

AI時代に私たちがどのように向き合い、どのように生きていくべきかをテーマについて取り上げさせていただきます。安積高校が育んできた「開拓者精神」は、私たち卒業生にとって常に新しい挑戦を受け入れる指針となっています。この精神をもとに、AIという技術がもたらす可能性と、それを取り巻く課題について考えてみましょう。

まず、AIに対して多くの方が漠然とした不安を抱えていることは事実です。仕事が奪われるのではないか、あるいはAIが人間を支配するのではないか、といった声も耳にします。しかし、私自身が東京で会計事務所を運営する中で実感しているのは、AIは「道具」に過ぎないということです。どれだけ高度な技術を備えていても、最終的な判断や責任を負うのは人間です。AIはあくまで人間の知識や能力を補完する存在であり、それ以上でも以下でもありません。

例えば、私たちの事務所では、AIを活用して膨大なデータを分析し、税務や財務に関する洞察を引き出しています。しかし、これらのアウトプットをそのまま顧客に提供することはありません。AIが示した結果を慎重に検討し、自分の視点や判断を加えて初めて、顧客にとって真に価値ある提案となるのです。この過程を通じて、AIは道具としての本来の役割を果たし、人間の判断をより強化する存在となります。

AI時代において求められるのは、単なる情報処理能力ではなく、いわゆる「人間力」です。AIは膨大な情報を高速で処理できますが、それだけでは人間の持つ創造性や共感力には到底及びません。AIの普及が進むほど、人間同士のつながりやコミュニケーション能力が一層重要になるでしょう。特に、私たち安積高校出身者にとって、先輩後輩との絆や同窓生との交流は、AI時代において大きな力を発揮する資産となるはずです。

AIはこれまで私たちが行っていた単純作業や繰り返しの業務を効率化し、より高度な仕事に集中できる環境を整えています。これは、産業革命以降の技術革新と同様に、私たちの生活

不法電波は
やめましょう！

ATIS(自動識別装置)を
必ず取り付けましょう！

技術と奉仕の無線機器部門
ソフト開発と奉仕のコンピュータ機器部門
ニーズに対応、奉仕の電話機器部門
株式会社富士通ゼネラル 通信特機特約店
富士通テン 株式会社 特約店

株式会社 山口電機

www.yamaguchi-denki.co.jp

本社 宇都宮市宮の内2丁目184番地18
水戸支店 水戸市中河内町67番地1
さいたま支店 さいたま市三橋1丁目815番地
東京支店 江戸川区春江町2丁目10番3号
千葉支店 千葉市稲毛区六方町215番地22
高崎支店 高崎市倉賀野町5319番地1
会津若松支店 会津若松市一箕町八幡38番地11号
横浜支店 横浜市青葉区元石川町3719番地8

TEL(028) 655-1600(代表)・FAX(028) 653-7817
TEL(029) 227-2205(代表)・FAX(029) 227-2237
TEL(048) 663-4000(代表)・FAX(048) 663-4274
TEL(03) 3698-1600(代表)・FAX(03) 3698-1699
TEL(043) 423-3000(代表)・FAX(043) 423-3503
TEL(027) 346-4000(代表)・FAX(027) 346-4004
TEL(0242) 23-1700(代表)・FAX(0242) 23-1701
TEL(045) 921-5100(代表)・FAX(045) 921-5416

代表取締役 山口雄機（74期）

をより便利で豊かなものにしてきた流れの延長線上にあります。しかし、その一方で、AIが自動化を進めるほど、人間に求められる役割はより高度で複雑なものへと変化していきます。AIが得意とする情報処理や分析に対して、人間は創造性や批判的思考、さらには他者との関係構築といった部分でその力を発揮する必要があります。

また、AIの進化により、社会全体の価値観や仕事のあり方も変わりつつあります。これまで、仕事の多くは「生産性」を重視する方向に向かっていましたが、これからは「人間性」や「共感性」といった要素が重視される時代になるでしょう。例えば、AIによるデータ分析が行われても、そのデータをどう解釈し、どのようなメッセージを伝えるかは、人間の役割です。この「解釈する力」こそが、AI時代において私たちが培うべきスキルと言えます。

さらに、AI時代においても、人と人とのつながりが何よりも重要です。技術が進歩するほど、その裏で支えとなる人間関係の価値が高まります。安積高校出身者としてのネットワークや友情は、これからの時代において私たちの行動を支える大きな財産となるでしょう。この絆を大切にしながら、AIを効果的に活用し、人間の持つ温かさや思いやりを社会に広げていくことが求められています。

なお、この文章はChatGPT（AI）を活用して作成しました。具体的には、以下の手順を経て完成しました。

1. ChatGPTに過去の会報を読み込ませ、参考情報を整理する。
2. 私が音声入力でテーマに沿った内容を話す。
3. ChatGPTに会報形式で出力させる。
4. ChatGPTに微修正を依頼し、再度調整する。
5. 最終的に私自身で内容を確認し、微修正を加える。

これらのプロセスを通じて、約15分でこの記事を作成させました。このように、AIを道具として活用する一方で、最終的には自分自身の責任で判断を加えることが重要です。これは、AIを有効に活用するための基本姿勢とも言えるでしょう。

最後に、AI時代を生きる上で忘れてはならないのは、人間としての価値を再認識することです。AIがどれほ

ど進化しても、人間が持つ温かさや共感性は代替不可能なものです。これからの社会で私たちが果たすべき役割は、AIを活用しながら、これまで以上に人間性を高め、他者と協力し合うことです。未来に向けて、AIを正しく使いこなし、人間らしい社会を築いていきましょう。

福島と東京をつなぐ おすすめスポット！

青木 雄司（113期）

ふとした瞬間に故郷を感じたいなっという。会社の同僚や、県外の友達に福島のことを知ってもらいたいって思うこと。ありますよね？そんな時におすすめのスポット（超個人的…）を何か所かご紹介いたします。

①まずはお酒からスタート！「大新橋 おさかなセンター」

新橋駅前SL広場から、徒歩5分ほど。道中にはいろいろな誘惑(?)がありますが、新橋では比較的閑静な場所にあります。店名からは「福島？」という感じですし、経営する会社は仙台の会社ではありますが、ここの店長さんが郡山出身。郡山駅前に存在したアジア系居酒屋で店長を長らくされていたので、ご覧になれば「あ！あの方！」と気づかれる人も多いかもしれません。

店名の通り、新鮮な魚料理がウリで、東北の魚をはじめとしたさまざまな魚料理を楽しめます。また、飲み放題システムしかなく、しかもセルフでお酒を作るスタイル。焼酎も自分好みの濃さで作れるので、無理なく楽しめます。また、お酒を作るたびに席を立つことによって、自分の酔い加減を都度確かめられるという利点もあります。

店長さんはとても気さくな方で、「福島出身です！」と話しかければ、忘れかけてた「福島訛り」で会話することが可能です。次の日、お酒と訛りが残ることはご承知おきください。

いつも満席の超人気店なので、ご利用の際にはご予約をおススメします！

②スイーツは別腹！「Fruitspeaks 関東各店」、「東京柏屋（柏屋薄皮饅頭）」郡山の新名物ともいえるフルーツタ

ルト屋さん「Fruitspeaks（フルーツピークス）」ですが、実は東京駅グランスタをはじめとして、茨城、埼玉、東京、神奈川と関東圏に7店舗展開されています。

その時期の旬の果物をふんだんに使った各スイーツはどれも美味で、お土産にはもちろんのこと、プレゼント、自分へのご褒美、家族への罪ほろぼし…などなど、どなたにも喜んでいただけることは間違いなしです。

このfruitspeaksは「フルーツ青木」の関連会社で、たまたま私と同姓であることから、お土産で先方へお渡しする際には話のネタとして抜群なので、とても重宝しています。

また、ご存知の方も多いと思いますが「日本三大まんじゅう」として有名な郡山の「柏屋薄皮饅頭」の店舗が豊島区大塚にあります。郡山市民には幼少のころから刷り込まれている、あの懐かしの味が東京に居ながらにして体験できます。大塚と言えば都電荒川線。昭和レトロな都電とまんじゅうの相性は抜群。ゆっくりできるお休みの日に乗り鉄のおともにどうぞ！

③福島のカワイイを求めて。「TOKYO TORCH parkの赤べこ」

東京駅日本橋口に385mと日本一高いビルとなる予定のTORCH TOWERですが、その足もとに「TOKYO TORCH park」があります。じつは、そこに全長3.6m、高さ1.8m、胴体幅1.4mという「巨大赤べこ」が存在することをご存知でしたか？

赤べこと言えば会津地方の郷土玩具ではありますが、福島の象徴のような存在だと思っています。あの愛らしい顔やボディを見るだけで優しい気持ちになり、そして故郷のことを恋しく思う…福島県人にとってはそんな存在だと思います。

出張や通勤で東京駅を利用する際に、少しだけ寄り道してみてください。少しだけ都会での生活に疲れてしまった…なんていうときに福島パワーをチャージできます。

④福島の子。「赤坂サカスの滝桜（の孫）」

「日本三大桜」の一つと言えば、三春町の「滝桜」です。樹齢1,000年超と言われている、国の天然記念物にも指定されています。あの巨木に無数の桜が開花する姿はまさに滝のようで、息をのむほど美しいのを皆様よく

ご存知のことと思います。

とはいっても、開花時期の現地は当然大混雑だし、何より関東圏にいと距離と時間が…という方におススメなのは、都会のど真ん中、TBSテレビの正面「赤坂サカス」に存在する「滝桜の孫」。

赤坂サカスには100本もの桜の木が植樹されているそうですが、本家同様にしだれながら滝のように咲く姿はとても美しく、他の桜に全く引けを取らないもので、勝手に誇らしい気持ちになります。この原稿が皆様のお手元にわたるころには、桜も散っているかと思いますが、生命感にあふれる青々と茂る葉もまた一興です。道半ばではありつつも一歩ずつ復興の道をたどる福島を感じられるスポットです。

ということで、超個人的おすすめスポットを紹介させて頂きました。皆様にも思い思いのおすすめスポットがあると思いますので、会員間でシェアし、それを口実に集まりましょう！
※本稿の情報はすべて2025年1月現在の情報です。

逃げて真似することで得た変化への対応術と東京桑野会に求める変化

青山 裕之（113期）

安積高校を卒業してから25年、ふりかかる前厄・本厄・後厄を乗り越えて43歳となり、様々なご縁に恵まれて、このような寄稿の機会を頂きました。

田舎の農家の家系に生まれ、運よく安積高校に入学し、中央大学への進学を機に東京に出てきて資格を取得してからは、都内の監査法人への就職を経て、現在は、埼玉で公認会計士・税理士の資格を活かして独立し、会計事務所の経営、行政・民間企業コンサルティング、民間企業の役員を務めるなど、良縁に恵まれながら、楽しい経験をさせて頂いております。

また、学生時代や社会人になってからのライフステージにおける趣味やライフワークは様々で、中学時代は卓球部、高校時代は陸上部、大学時代はストリートダンス、監査法人では仕事は適当にしながら、行きつけの居酒屋をリビング替わりにしながら每晚飲み歩き、週末にはクラブにて出かけては音

楽を聴いたり踊ったりして過ごしていたことから、同期には結婚が遅いだろうと予想されながらも、予想を裏切って27歳というやや若い年齢で同業の年上の妻と結婚し、結婚して間もなく子宝にも恵まれると、田舎の長男であるという立場でありながら、妻（末っ子）の実家がある埼玉に引きずり込まれ、さらには資格を取得した当初は全く意図しなかった「独立開業」というキャリアを選択して、いろんな会社の事業やプロジェクトに巻き込まれながら、多額の借金のもとで斬新な事務所を建築して事業の拡大を図る、サルサ（カジュアルな社交ダンスのイメージ）や将棋にもハマる（もっぱら見る将で複数の棋士・女流棋士の推しがあり、一応、推しにアマ二段の認定を頂きました）など、日々、アップダウンと横揺れの激しいジェットコースターとゆっくり回るメリーゴーランドを行き来するような、一貫性のない人生を苦しんだり楽しんだりしています。

そんな私が育った家庭環境は、厳格な農家の家系の分家で、食事は決まった時間に黙々と食べ、テレビはNHKしか見ることができず、21:00には消灯という情報もエンタメ性も皆無で彩りの少ないものでした。特に祖母の個

令和6年 安積高校創立140周年おめでとうございます

ウインファーマグループはお陰様で創立25周年



ウイン薬局

～ 人と人のつながりを愛します ～

地域密着したかかりつけ薬局を目指します

首都圏・関東・福島県関連薬局 65店舗

【保険薬局：処方せん受付・医薬品・医療用品・インターネット販売】
ウインファーマグループは創業25年 安心・安全・信頼を築き、
心を込めて調剤します。 代表 藤田 勝久（82期）

性は強烈で、古来の厳格な本家と比較されながら、私が何かを言うと「屁理屈をいうな!」、自ら何かをしようとすると「そんなのは見たことがない、本家ではそんなことはしない」、友人知人と何かをしようと「他人に迷惑をかけるな!」と怒られながら育ちました。

このような閉鎖的で情報も限定的な家庭環境で、外界と接点も少ない小中学校時代を終える頃には、「よくわからないものについては自分で考えて動くことができない」という私がいる一方で、「やったことがない、知らないものは何だかおもしろそうだ」と感じる好奇心旺盛な私がいって、相反する二面性を持った意味不明な私が育つこととなります。

その結果、義務教育以降のライフステージでは、安積高校進学後は勉強がデキる同学年を前に、大学進学後はキラキラしている学生を前に、また資格勉強中や就職後は優秀すぎる仲間や同僚を前にして、ただ愕然とするばかりで「自分は何も知らない、できない人間だ」と思うようになり、「様々なことから一旦逃げる」という術を身に着けます。しかし、逃げるだけでは悔いが残るでしょう、腐るだけ腐りながら、どうして彼らがデキるのか、やりたいと思った物事の背景は何なのかを考え、デキる人の真似することから物事に取組みはじめるのです。そして真似しながら理解が進んでくると、自分に合う方法を探し始めて、「できないことが少しずつできるようになる」というプロセスを辿るようになります。

この「好奇心をもって物事に直面し、一旦逃げてから物事を分析し、デキる人の真似をしながら取り組み、自分の方法を見つけ出す」というプロセスは、私にとって、知識や経験を習得する際のありがたいノウハウになりました。

しかし、その一方で、この「一旦は逃げる」という選択は、痛みを伴ったり、他人に迷惑をかけるケースも多く、私にとって苦しい選択でもあるわけで、「そんなのだったらそもそも首を突っ込まなければいいじゃん」と思うのですが、幼少の抑制的な生活環境からの反動で育まれた旺盛な好奇心がある以上、なかなかやめることはできず、悩ましく思うことも多々あります。

そのような中でもライフステージはどんどん進んでいくわけで、33歳に独立開業してから現在においては、「一旦逃げる」という手法を採用できないケースも増えてきて、「極力逃げずに一歩・二歩・三歩、、、十歩くらいひいて考えまくる」「一旦引くけど、考えるので後でならできますよ」という手法に発展を遂げている印象です（妻からはいつも逃げてばかりですが）。

以上をまとめると、私は、幼少期に情報が限定的で、謎に閉鎖的で厳格な家庭環境で育った反動から、自分の実力に見合わない旺盛な好奇心を発揮し続け、それぞれのライフステージで環境を変えながら、「逃げては（引いては）考えて真似する」という術を身に着けて、それを繰り返すことで変化に対応してきた人生だったものと思慮します（妻からも、明らかに厳格な実家育ちの反動だよねとよく言われます）。

ここで話は若干転換しますが、私と東京桑野会との出会いは、監査法人を退職した31～32歳の時でした。「これから何が起こるかわからないし、いろんな先輩・後輩と出会う事で、今後、何か楽しいことがあるかもしれない」と考えて、東京桑野会というものがあったという薄い記憶を頼りに、東京桑野会事務局を探し出してアポをとり、総会・懇親会に顔を出し始めたことがきっかけです。

毎年、いろんな先輩・後輩と顔を合わせるの楽しいもので、何も考えずにただ楽しいという思いから参加し続けてきましたが、縁あって今年度からは学年幹事を仰せつかりました（最初は幹事ではなく監事と聞いてお引き受けしたつもりでしたが、ご縁は大事ですので気にせず）。

しかし、私の高校時代の交流関係は、学年の成績の底辺を構成しながら陸上競技に明け暮れたことで、限定的なものであったため、東京界限で知る同窓生は、さほど多くありません。また、近年においては、コロナ禍を経たこともあってか、東京桑野会自体の参加者が徐々に減少傾向にあり、お会いする同窓生メンバーも硬直化してくる印象があるため、活性化施策が必要であるとも感じます。

この点、私のまわりの全国の地方の名門校卒の友人・知人・同僚・先輩にヒアリングを重ねた結果、とても盛り上がっていると感じる東京同窓会の共通点は、総会と懇親会が別日で、総会は小規模に開催され、懇親会は毎年1回、特定の幹事年次が旗を振って企画し、奮起して参加者を集めた盛大なパーティーとして土日祝日に開催していました。さらに特筆すべきなのは、調査した山形と福岡の某名門校では、幹事年次が43歳と58歳の年次で一致していたことです。

私の印象ですが、一般に30代後半から40代前半は身心ともに充実し（体は衰え始めますが）、上下のコミュニケーションを図ることのできる中間年次であり、50代後半から60代前半は、活きのいい若手にバトンタッチを検討する年次ですから、この幹事年次の設定は実に絶妙な設定であるものと感じました。

「東京桑野会を活性化して、楽しい出会いと交流を創出したい」というのは、私だけでなく、東京桑野会に参加する同窓生の総意でしょう。その実現のために、私は「まず十歩くらい引いて（逃げて?）、真似してから考える」というスタンスから、盛り上がっている地方名門校の東京同窓会にならって、複数の絶妙な幹事年次の設定と土日祝日の懇親会・パーティーの開催（総会は別日に小規模に）について、ぜひ議論・検討してみたいと思う次第です（2025年の総会・懇親会は土日開催となる旨を伺っております）。



安積健児の像

AI 作成スケッチ

制作は、芳賀雅美 86 期



まあ、これも私なりのひとつの開拓者精神と言えるのかもしれませんがね。

自分でやってみること の大切さ

安孫子 哲教（115期）

昨年東京桑野会では140周年記念式典が無事行われ、自分の母校が140年という長い歴史のある伝統校であることを改めて認識したが、自分のことを振り返ってみると、安積高校を卒業して今年で卒業して23年となる。

当の本人はそんなに時間が経ったような感覚はないが、年も40歳を越え（今年厄年）、冷静に考えれば、あの頃に比べて大分年を食ったなあと思う日々である。

東京桑野会には、大学時代の友人から「東京で安高の同窓会があるので参加してみないか？」と誘われ参加したのが始まりである。

参加した当初は、学生料金であったため（確か3000円だった記憶である）、「破格の値段で椿山荘の料理が食べられるぞ」と学生ながら毎年の楽しみとして参加していた記憶がある。また、何より、上京して数年程度であった私にとって、安高の同窓生が一年に一度東京の都心に集まる機会があったことが何となく心の拠り所にもなっていた。様々なバックグラウンドを持った先輩方が多数参加しており、当時はまだ将来の進路は確定していなかったが、色々な先輩方の話を伺えるが非常に刺激となっていた。

その後、私は司法試験を目指すことを決めたが、司法浪人時代も重なって

しまい、参加しない年度も度々あったが、浪人期間に東京桑野会で知り合った先輩の法律事務所でアルバイトさせていただいたり、上の期の大先輩に飲み連れて行っていただき激励をいただいたりなど、どうにか目標を見失うことなく、目標を果たすこともできた。これも東京桑野会に参加してきた恩恵なのだと思う。

そんな自分も弁護士となって丸5年が過ぎた。ここまで、刑事事件の特化した法律事務所、企業法務に特化した法律事務所と、事務所を転々としたが、一昨年晴れて吉祥寺にて独立することができた。

独立をしてみて、ここ最近特に思うことがある。それは、何事においても自分自身でやってみることが経験やスキルが一番身に着くということである。

弁護士がどこかの法律事務所に所属して働くときは、先輩やボスと2人また3人一組のチームで事件を扱っていくことが多い。そのメリットとしてはボスや先輩からのフォローを受けることができるため、経験を積みながら事件を進めることであるが、一方で、「何かあっても先輩やボスもいるから大丈夫だろう…」とどこか人任せとなってしまうデメリットもある。

しかし、独立をしてしまえば、そうはいかない。ボスも先輩もいないので、自分の仕事は自分の仕事として一人でこなさなければならないし、分からないことがあってもすぐに聞くことができる先輩もいないし、何か問題が生じた場合は、自分を守ってくれるボスや先輩もいないので、自分自身で責任を負わなければならない。これは独立にとって大きなリスクではある。

ただ、ここ最近、独立して仕事をすることが自分を大きく成長させている

と感じる。

なぜなら、一人で仕事をするリスクがある反面、自分がやったことが全て自分に返ってくるからである。自分自身でやったことは、酸いも甘いも自分の糧として忘れないものである。そして、（報酬は当然のことではあるが…）自分で仕事をしていくと、新しい分野にチャレンジする機会も多く、取り扱う分野も大きく増えるため、多くの知識や経験が身に着く。これは大きな財産であり、今後のフィードバックを広げるきっかけにもなる。

話は変わるが、独立を機に、プライベートでは、社会人劇団に所属し、音響オペやキャストとして活動している。元々高校時代は演劇部であったが、しばらく演劇から遠のいており、たまたま仕事の関係で知り合った劇団員から声を掛けてもらい、面白半分で行ってみようと思い、その後劇団に関わるようになった。当初は知り合いが全くおらず、何となく気まずい思いがあったが、今では知り合いも増え、普段の生活では味わえない刺激的なプライベートを過ごしている。これも「自分でやってみたこと」の結果なのではないかと思う。

ここ最近の東京桑野会では若手の参加者の減少が課題となっている。「やってみよう」ではないが、まずは、若手会員にいきなり「東京桑野会に行ってみよう」と思ってもらえるかがポイントではないかと思う。その上で、一度や二度ではなく、複数回足を運んでもらい、顔なじみの同期や先輩などを作ることで、「来年も行ってみよう」という気持ちを持ってもらうことが必要だと思う。

もっとも、一度は参加しても次年度以降は参加なしなど、この2段階方式を若手会員に構築することが非常に難

小橋クリニック

院長 小橋主税（86期）

福島県須賀川市仁井田大谷地172-3
TEL 0248-72-1555

しい。

どのようにすれば若手会員が増えるか、会の内容を再考してみることはもちろんのこと、毎年の総会までの間に若手会員に向けたイベントを開催するなど、先輩方と若手が手を取り合いつつ、今後も東京桑野会の活気を継続すべく活動していきたいと思う。

愛校心とは

平田 勝也 (76期)

東京桑野会においては、現在しきりに“愛校心”が会員構成の若年層の減少と参加意識の低下と絡めて論じられています。安積高等学校は2024年9月創立140周年を迎えた県内有数の伝統校で、「開拓者精神」「質実剛健」「文武両道」の3つからなる「安積の精神」が息づいていると言われております。ただし、これらの標語は全国随所で唱えられる共通の精神で、本校だけの独自のものではなく、随時見直しや新たな価値創造の必要があります。

そして、2001年4月男女共学開始、2025年度に中高一貫校「県立安積中・高（仮称）」を開校予定となっており、建学以来大きな教育体制の変化を迎えつつあります。このような状況下で、東京桑野会の今後の在りようを考えてみました。

はじめに、愛校心とは受動的に与えられるものでも、上意下達で強制的に先輩から後輩へ押し付けるものではなく、先輩・同輩・後輩の間の絶え間ない活動や意思疎通、相互連携と互いの共同作業による連帯や共感による相互理解と信頼によって自然に育まれる歴史的産物と言えましょう。例えば、対外的なスポーツ・音楽会・学校祭・修学旅行等への自発的参加と応援活動やボランティア活動あるいは様々なクラブ活動等によって共同参加による共感と連帯等によって生み出されたものです。在校生、卒業生、教職員、在京関係者一同の共通の土俵となるものと思います。開校以来の様々の経験の蓄積が熟成され、自由闊達な議論に基づく伝統とか精神とかが形成されてきたものと思います。

ここでは、安積高等学校の歴史を左右することになる上記の男女共学開始と中高一貫校開始の重要事項を中心

に、愛校心と絡めて論じようと思います。

まずは、当校の設立にかかわる時代背景を説明致します。

江戸時代末期の日本は黒船来航などに代表されるように、欧米諸国の植民地獲得競争の一環として各国の来航が頻発し、江戸幕府と諸藩の夫々の異なる対応によって一貫して諸外国に対処する統一外交ができず、内戦となり明治維新を迎えた経緯があります。これらの世界情勢から、欧米諸国の視察及び遊学は江戸時代末期から薩摩藩・長州藩及び江戸幕府によってなされていましたが、中国のアヘン戦争による植民地化などの脅威を強く懸念した維新政府は、これを積極的かつ計画的に迅速に進めると同時に、お雇い外国人などを導入するなど、国力を急速に高めるため、直接に文物や・科学・工業・諸法規の整備を進め、廃藩置県を経て「文明開化」の流れがあり、併せて東京帝国大学の前身の大学校の整備を進め、明治三年二月に「大学規則」とともに「中小学規則」を定めました。

欧米の学校制度にならって、学校を三段階に構成「中小学規則」を定め、この中学は「専門学」を授ける学校であり、学制後の中学校とはかなり異なった性格で当時の諸藩や府県の学制改革に影響を与え、その後「中学」または「中学校」と称する学校が各地に設けられました。当時の中学校は、その地方における最高学府であり、小学校よりも程度の高い普通教育および専門教育の一部を授ける総合的な教育機関でした。そして多くはその藩や府県の教育行政の機能をももち、また教員養成機関をも兼ねていました。旧制中学校は、中学校令（明治19年勅令第15号および明治32年勅令第28号）に基づき、各道府県に少なくとも一校以上の規定で設立されました。（文部科学省）

我が校は、明治維新のこれらの学制改革の一環として設立されたもので、当初1884年（明治17年）7月12日「二本松県安積中学校」を統合吸収し、「福島県福島中学校」が設置され、入学資格を小学校中等科卒業程度としました。その後種々の変遷を経て、旧制福島県立安積中学校となり、終戦を経て1948年（昭和23年）4月1日、学制改革（六・三・三制の実施）により、旧制中学校は廃止され、新制高等学校「福島県立安積高等学校」（男子校）が

発足しました。通常制普通課程（現・全日制課程普通科）を設置し、修業年限を3年としました。更に、2001年（平成13年）4月1日男女共学を開始しました。加えて、2020年（令和2年）2月 - 福島県教育委員会は、2025年度に安積高校を中高一貫校化することになりました。（福島県立安積高等学校HP他）

以上大急ぎで、当校の設立の経緯を述べましたが、まずは主題の男女共学開始について論考致します。

日本では第二次世界大戦まで男女別学であり、封建的な男尊女卑の考え方が一般的でした。しかし戦後のアメリカのGHQ主導で米国スタンダードな教育改革が実施され、「男女平等」の概念が反映されるようになります。

GHQは「女性にも高等教育を受けさせるべきだ」と主張し、これを受けて教育使節団が派遣され、学校教育における男女の教育の機会均等と共学を推進する改革が進められました。

そして1947年には日本で初めての学習指導要領が発表され、教科ごとで小学校から高校までを通した教科の目的・内容などが記載されていました。

更に時代は進み、全国で高校も男女共学の波が起こり、次第に従来の男女別学の流れが変わり始めました。

福島県においても、2000年台前半までに県下公立高等学校の「男女共学化」が進められました。その際の各校では賛否両論が多く発生しました。特に旧制中学校、旧制高等女学校ではこの論争が頻発しました。全国的に、公立高校では新しい制度が進められていますが、私立高校では必ずしも進められてはおりません。

ここでは、まず共学の利点と欠点について述べます。「共学校のメリット・デメリットは？男女別学との違いを解説！」（塾選）引用

〔利点〕

- ①男女がお互いに、いい影響を与え合い、実社会に近い環境とします。
- ②多様な価値観に触れる機会が多く、切磋琢磨し合える環境です。
- ③社会に出てからの適応性を身につけることができます。
- ④異性が近くにいる環境で得られる経験が沢山あり、「楽しかった！」という感想を聞くことができます。

〔欠点〕

- ①男女の特性に応じた授業を展開しづらい。
- ②異性の目が気になり、窮屈さを感じる。
- ③学業面が疎かになることも…。
- ④先入観が邪魔をして、選択肢を狭めてしまう。

男女共学の利欠点や同別学の利欠点については様々の主張や比較検討がなされており、夫々に論拠に頷ける点や必ずしも納得できない点がありますが、少なくともこの制度は既に決定事項として進行していることに留意する必要があります。私も当初は、男子生徒の専有率が下がり必ずしも学業にこだわらない多種多様な優れた資質を持つ生徒の採用が難しくなり、郡山市周辺の特色ある地域性が薄れ、歴史や伝統の継続が難しくなるのではないかと危惧しました。

ただし、母校を訪ねると、女子生徒が礼儀正しく先輩に礼をしたり、東京桑野会総会でパンカラ風の元気のよい女子卒業生の挨拶を見ると、ある種の頼もしさもあり、改めて共学の意義を考える必要性を感じざるを得ない局面に立ちます。

これらのことから、既に進行中の男女共学の現実を踏まえて改めて利欠点を掘り下げて、新安積高等学校の新たな進路を模索し存立理念を確立する必要があると感じます。これは学校当局や現役生徒や卒業生も含めて、今後の安積高等学校のあるべき姿や具体的な教育方針・各種クラブ活動・校歌・応援歌等について率直な議論・討論・投稿等を進めるべきと考えます。もはや、在学生の四十数%を越える女生徒の存在を抜きにした議論はあり得ず、安積高等学校のあるべき姿を模索すべき根本的な問題となっております。

次に、中高一貫校は本年より開始されますが、そもそも何故このような学制が必要とされたのかを考えなければなりません。

中高一貫教育制度は、「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」（平成9年6月中央教育審議会第2次答申）においてその基本的な考え方や制度の骨格が示されました。

平成9年答申においては、中高一貫教育が、私立の中・高等学校を中心に、實際上相当の広がりを持って行われて

いた現状も踏まえ、心身の成長や変化の著しい多感な時期にある中等教育において、一人一人の能力・適性に応じた教育を進めるため、中学校教育と高等学校教育を6年間一貫して行うことについて、大きな幾つかの利点を持つ中高一貫教育を享受する機会を、子どもたちにより広く提供すべく、中高一貫教育を導入することが適当であるとなりました。一方で、中高一貫ではない中学校・高等学校の利点や意義も確認し、その上で、子どもたちや保護者の選択の幅を広げる観点、さらには、地方公共団体や学校法人などの学校設置者が自らの創意工夫によって特色ある教育を展開する観点から、その中等教育における選択肢としての意義を提言しました。

この平成9年答申における提言を踏まえ、学校制度の複線化構造を進める観点から、中学校と高等学校の6年間を接続し、6年間の学校生活の中で計画的・継続的な教育課程を展開することにより、生徒の個性や創造性を伸ばすことを目的として、中高一貫教育制度が平成11年度から選択的に導入されました。（文部科学省）

このような国の方針を受け、福島県においても中高一貫教育の導入方針を固め、既に会津学鳳高等学校（平成19年度）・ふたば未来学園高等学校（平成31年度（令和元年度））が誕生致しました。

設立理念は国の方針に準じるもので、福島県教育委員会では、2020年2月に策定した「中高一貫教育後期実施計画」に基づき、既設高に続き新たな中高一貫教育校を安積高等学校に併設型で設置します。基本計画では、学

校の概要や教育内容、開校に向けた教育内容等準備計画、施設整備計画についてまとめています。

学校名は福島県立安積中学校・高等学校（仮称）。開校（予定）年度は2025年度。設置課程・学科は全日制普通科。生徒募集定員は中学校60名。通学区域は県下一円。スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業における課題研究を軸とした産学官連携、地域との共創等を特色とする仕組みや、文化活動を尊ぶ郡山市の立地を生かした教育内容とします。また、教育の柱として、STEAM教育の推進を掲げ、創造性、表現力、課題解決力等を育成するものとなりました。

これとは別に、少子高齢化の進展と共に就学生徒が減少し、県内でも学校の集約化による統廃合が進行中で、教育界の再編成が行われて学校の絶対数が縮小しつつあり、これらの動きと今回の改革とは謂わばスクラップアンドビルドのような一連の動きと関連がありそうで複雑微妙な心境です。

既に、この春開校する県立安積中学校など、3つの県立中学校の入学試験が行なわれました。2025年4月に安積高校に併設され、中高一貫校として開校する郡山市の県立安積中学校には、定員60人に対して307人が志願し、倍率は5.12倍となりました。県立中学校の入学試験は11日、“会津学鳳中”と“ふたば未来学園中”でも行われました。3つの県立中学校の合格者は、21日に発表されます。（福島中央テレビ）

このような状況下で、中高一貫校制度が始動し、もはや制度の是非や長短所の有無を論じる段階ではなく、如何



「安積健児の像」ブロンズレリーフ

45期 佐藤 静司 作

100周年記念頒布品

に新制度を軌道に乗せ内容を充実させる段階となっておりますが、男女共学化と併せ、私達が学んだ安積高等学校は革命の変貌を遂げ、全く別の高校に脱皮しようとしております。ただし、安積中学校には小学生が受験し、まだ海のものとも山のものとも知れぬ段階で、隠れた才能が開花する前に、偏差値を主眼に選抜し、郡山市の地域特性とは関連の薄い生徒が集まる可能性もあり、解決すべき制度となっております。

そもそも、創学時の旧制安積中学は福島県で唯一の全県下から進学する学校で、多くの国内の錚々たる人材を輩出した歴史があり、謂ってみれば先祖帰りの感もあります。当校の立地条件は、当時の時代背景を基に、県央に位置し交通の要衝で物流の中核基地を担ったこと、安積疎水開通で農業基盤が整い安定した食料供給体制が整ったこと、全国から多種多様の玉石混交の意欲ある人材が流入したこと等をもとに、建学の精神に溢れる有学の志が集い談論風発の活発な学生を世に送り出しました。

このように誇るべき歴史を連綿と受け継いできてはいるのですが、旧制中学の伝統を引く学校像だけでは対応できない段階となっており、新しい体制に応じた安積桑野会・東京桑野会他の在りようを模索する時期に至っております。本題の愛校心とはこのような現況を踏まえた探求にすべきもので、最初に述べた、「先輩・同輩・後輩の間の絶え間ない活動や意思疎通、相互連携と互いの共同作業による連帯や共感による相互理解と信頼によって自然に育まれる歴史的産物と言えましょう。」との丁寧で緊密な作業の積み重ねによって醸成されるものと考えます。

最後に、以上の考究すべき思索には、英国・仏国・独国・米国・中国等の明治日本が範とした当時の先進国の教育制度の検証や再発見も必要です。私は、個人的には、英国のオックスフォード・ケンブリッジ大学等への著名な進学校のパブリックスクールの厳しくもおおらかな教育方針・校風が理想的で、ジェームズ・ヒルトンが1934年に発表したイギリスの小説で、「チップス先生さようなら」に描かれる自由な空気と歴史とが眩しく見えます。

文化人類学者・移川子之蔵博士のこと (その3)

—めぐりめぐってつながった糸—

柳沼 亮寿 (90期)

移川子之蔵(うつしかわ ねのぞう)とは旧制安積中学16期(1904年)卒で、1917年にハーバード大学で doktor を取得、1928年、台北帝国大学に土俗人種学教室が開設されるにあたり教授として赴任し、大著『臺灣高砂族系統所属の研究』により帝国学士院賞を受賞した、戦前の文化人類学者である。民族学・文化人類学の分野において海外で doktor を取得した最初の研究者であり、また、日本の大学で同分野初の専攻コースを担当し、後に活躍する馬淵東一らを育てたことで知られている。そのため、民族学・文化人類学史において必ず紹介される我が国初期の人類学者である。

2018年、私は東京桑野会会員ブログ(2月)と『桑野会報』第49号(9月)にて移川を紹介する機会を得た。同学の先輩として興味を覚えたのはいうまでもないが、二本松という片田舎で育ち、安積中学卒業後、日本の高等学校や大学に進むことなくなぜ米留学できたのかにも関心があった。ただ、私が紹介のために参照した資料はすでに刊行された書籍類が主で、何ら特別な資料を持ち合わせていたわけではなかった。そして『桑野会報』に書いたとおり、2006年の末、前安積歴史博物館長の故仲村哲郎先生(66期:2014年没)が故吉成健児氏(64期)から移川を紹介してはどうかと資料を手渡され、2007年、吉成氏の逝去後、『桑野会報』(38号)に移川を紹介したのだった。仲村先生は、吉成氏から出版物の抜粋その他の資料をお預かりしたと書いているのだが、この「その他の資料」とはどのような資料なのか、また、なぜ吉成氏が移川を紹介しようとしていたのが気になり、この資料につき安積歴史博物館に問い合わせたのだが、保管されてはいなかった。それから私はその資料の追跡を諦め、移川の直系子孫の方を探してみようと思い、ネット頼りに東京在住の移川さんに連絡を取り、2020年春、移川の弟

と一緒に米国に留学した末之介(後に建築家)の孫S子さん、続いて移川の直系孫のSさんにたどりついたのである。しかし、おり悪くコロナ禍のため直接会うことはためらわれた。が、S子さんからは受け継いでいた過去帳の写しをいただくことができ、子之蔵を中心とした移川一族の關係がだいぶ把握できたのであった。そしてコロナ禍も落ち着いた2022年11月、私は移川の生地を訪れてみようと思つた。安積歴史博物館を訪問後、二本松の根崎に足を運んだのである。驚いたことに、根崎は高村智恵子の生家に近く、また朝河貫一の出生地でもあった。私は移川家と遠い親戚だという方に出会い、この方に案内されて、移川家の菩提寺である顕法寺の墓地にある一族の墓を訪問することができた(写真1)。移川家は江戸時代から知られた商家だったのだが、現在は分家筋の一軒があるのみである。住職によれば、もはや一族の墓所をお参りに訪れる人はおらず、このままでは無縁墓地として処理せざるをえないのだが、代々商家として栄えた移川家の墓地をどうしたらよいものかと悩んでいる様子であった。つまり、移川本家を継いだ子之蔵の長兄・源吉家のゆくえが不明なのである。

一方、2021年9月、考古学を専攻し長く地元の郡山で文化財関係の仕事に従事していた兄が仲村先生の奥様から、先生の遺品で必要なものがあれば寄贈したいと調査依頼があったのである。私は兄が仲村先生と關係があったことを知らなかったのだが、『郡山市史』改訂の關係で面識があったのである。私はすかさず「移川子之蔵」と書かれたような封筒などが保管されていないか確認してほしいと兄にお願いした。しかし残念ながらこの時は発見されず、2年後の2023年10月、再度お呼びがあり、ついに資料が発見されたのである。すぐに東京に送ってもらっ



写真1: 移川一族の墓地(二本松市竹田)

たのだが、「移川子之蔵博士関係資料」と鉛筆書かれた封筒の中には関連書籍の抜粋のほか、子之蔵の少年期、米国留学時代、台北帝大時代の写真のコピーや「父の経歴書」が入っていて、仲村先生が書かれたであろう移川紹介文の構想メモが添えられていたのである。また、吉成氏がすでにB4で手書き3枚にまとめており、なぜ吉成氏が移川を母校に紹介しようとしていたのかが判明したのである。つまり、吉成氏の妻の祖母が子之蔵の次姉であり、妻は生前、子之蔵が有名な人類学者であったことを夫・吉成氏に語っていたという。また、妻の妹K子さんの娘H子さんが2003年から2年間ミシガン大学に留学しているときに、日本から客員教授として来ていた文化人類学のN先生が授業で移川子之蔵に触れたという。そして、H子さんは子之蔵が母方の親戚にいた人ではないかと日本にいる母K子さんに確認したのであった。このN先生こそ私の大学院時代の先輩である。私はN先輩から、ミシガン大学で講義をしていたときに移川の親戚だという学生がいたと聞いており、移川の博士論文の写しをいただいていたのである。ただ、N先輩は学生の名前や連絡先を思い出せず、私はそのルートから移川に接近することができずにいたのだ。それがこの吉成資料によりつながったというわけである。

私は吉成資料にあった妻の妹K子さんにさっそく連絡を取り、それ以降、現在に至るまで色々ご教示いただいている。驚くことに、娘H子さんは文化人類学を勉強しようとして留学したこと、夫は移川ゆかりの台湾の方であることなどをうかがった。2005年、H子さんの帰国後、母K子さんは姉の夫・吉成氏と連絡を取り、顕法寺とおして移川子之蔵の長男丈見氏（2019

年没）をつきとめ、お会いしている。また、吉成氏は二本松教育委員会に情報提供するとともに、2006年8月に二女KK子さんを伴って二本松を訪れており、二本松・安達ヶ原ふるさと村にある「先人館」に移川の遺品等を展示することを模索していたことがわかった。

私は2024年4月、90期の同期会への出席に合わせ、「先人館」を訪問するため再度二本松を訪れた。小さな資料館は1993年に開館し、朝河貫一、高村智恵子をはじめ二本松が生んだ6人の偉人の資料が展示されており、改めて、多くの偉人を生んだ二本松の偉大さを思い知らされた。ただ、子之蔵の場合、終戦直後、多くのものを台湾に残して本土に引き上げたという経緯があり、また、移川の後妻が関係者に書籍などを貸していたという話もある。丈見氏がK子さんに宛てた手紙によれば、展示品として最もふさわしいものは『臺灣高砂族系統所属の研究』であり、その他には勲章、台湾高砂族の織物類、移川の写真などであろうという。しかし、この『臺灣高砂族系統所属の研究』については、子之蔵家には1935年の初版本はなく、後に入手した1988年刊の復刻版しかないという。私は、母校の明治大学図書館でこの初版本と復刻版を確認したが、やはり初版本は復刻版とは比べものにならないほど重厚であった（写真2）。二本松から帰った後、漸く私は吉成氏の義妹K子さん、二女KKさんにお会いし、吉成氏の意図を詳しくうかがうことができた。続いて、子之蔵の孫Sさんにも直接お会いしたところ、著名人の署名がある台北時代の芳名帳、柳田国男や慶応義塾長からのはがきなどを見たことがあるというが、自宅は父・丈見氏の書籍であふれ、整理がついていないという。だがSさんからは、子

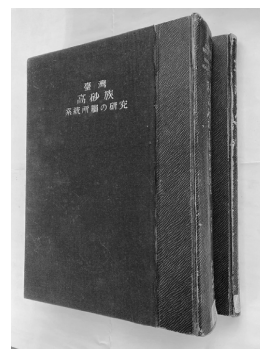


写真2：『臺灣高砂族系統所属の研究』（初版本）明治大学所蔵

之蔵にまつわる面白いエピソードを数多く聞くことができた。

さて、移川が中学卒業後なぜすぐに留学できたのかは未だわかっていない。また、一族の墓地に関しては、本家すなわち子之蔵の長兄・源吉家のゆくえも今のところ探し当てる手立てもない。このようななか次は孫のSさんをお願いして、多摩霊園に眠る子之蔵の墓を訪れるとともに遺品の確認ができることを願っている。そして、可能であればどうかして『臺灣高砂族系統所属の研究』の初版本を手に入れたものだと考えているのである。（明治大学島嶼文化研究所客員研究員）

母校愛と各地桑野会との連携について

安積桑野会 校内幹事長
渡部 正一（95期）

郡山にいて、特に母校に勤務していて痛感するのは、各地桑野会の方々の母校愛である。「安中、安高」の母校愛については、合理的に説明しきれない部分がある。本稿ではまず、私なりの解釈を試み、後段で、母校⇒各地桑野会、双方向の連携について具体的な

株式会社開成プランニング 代表取締役
(<http://www.kaisei-planning.co.jp>)

和田 正哉（77期）

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-2
勤務先電話：03-6261-0161
FAX：03-3938-0073
携帯：080-2929-1428
e-mail: wada@kaisei-planning.co.jp

本田 宏（86期）

NPO法人医療制度研究会 理事長

hondahiroshi@me.com 090-3205-9482

樹液を吸い取る政治
医療・社会保障充実を阻む
ものとの訣別へ
(あけび書房) 1800円＋税

短編映画
公的医療はどこへ行く
差し迫る医療崩壊
Vimeo 1000円



労働保険の特別加入
1人親方労災保険加入のご用命は！

労働保険事務組合
神奈川SR経営労務センター

顧問 佐藤 重夫（79期）
(特定社会保険労務士)

事務局 〒231-0005 横浜市中区本町4-36
朝日生命横浜本町ビル8F
TEL: 045-212-5269
FAX: 045-212-3177
<http://www.kanagawa-src.jp>

提案をしたい。

なぜ安高なのか？ひとつにはまちの成り立ちがある。県庁所在地の福島市は、日本銀行、気象台、国公立大学、日赤病院、JRA競馬場など国・県や全国規模の大きな組織の出先機関があり、遮二無二頑張らなくても安定した職場が多い。買い物にしてもわざわざ東京に行かなくても、仙台市でほとんど事足りる。対して郡山市(県中地区)には、何もない、と言っては言い過ぎだが、出先機関は少ない。一県一中制の施行に際し、中学校をとった郡山にとって、安積中学は数少ない公的機関であり、それが象徴的な意味での心のよすがとなったのではないか。何もないのだから、自分で何とかするしかない、というまちの雰囲気も自ずから醸成される。自分でやらなければならない分、自由裁量の幅は大きい。安高の自由な校風、自主自律(自立ではない)を重んじる指導(生徒を大人扱いする)もこの辺に源流がありそうだ。

そんな校風の中、進学校ということもありOB・OGの教職員も多いので、先輩が後輩に「安積とは、...」「開拓者精神とは、...」などのご託を垂れる。学校行事も、対面式、新入生歓迎会など入学早々、熱いパンチを浴びせられ

圧倒される。そして、応援歌練習。何と言っても、これが入学生を安高生に変える。市街地にあり、近隣住民の苦情などから、今では、応援歌練習ができなくなっている高校もある中、駅から遠くてよかった、と思えるのはこの時だけだが、...。他に、安高体操、安積黎明高校(旧安積女子高校)との野球定期戦、ロードレース、5年に2回の一般公開の紫旗祭、...。これらが渾然一体となり、ある意味、特別な空間を作り出し、3年間のうちに愛着を覚え、愛校心につながるのだろう。

私より少し上の先輩方、特に87期までは、入学から卒業まで旧本館で過ごしている。この差は大きい。戦時中、旧制中学の時代、空襲に備え校舎を守るべく生徒が自警団を組んでいた、という話を聞くにつけ、その想いには特別な強さ、熱さを感じられる。立場上、いろんな方から電話をいただくが、「祖父が〇〇期で、自分で安高5代目」などという方もいて、地域に根ざした愛される存在だ、と感ずることも少なくない。そんな学校に通っていることも誇らしさを感じ、愛校心につながるのだろう。

各地桑野会については、事務局の方と連絡を取り合ったり、実際に年次総

会に出席したりするなどして、全体的な動きと地区それぞれの雰囲気を感じてきた。地区によっては、近年、若い会員の入会や年次総会への出席者が少ないことが課題となっている。逆に、コロナ禍以前よりも出席者を増やしている地区もある。ここでは、成功例を参考に、盛会への提案をしてみたい。

1. 当該地区の大学進学者に入会案内を送付
2. 開催日時を工夫(土曜日の午後など)
3. 会場を工夫(若者が参加しやすいカジュアルなところで会費も抑えられる)
4. 終了時刻の明確化(開会から閉会まで1時間半など)

逆方向の連携としては、各地区から本校へはSSH(文部科学省指定スーパー・サイエンス・ハイスクール)事業の一環として「シニアサポーター」制度に、毎年20名ほどの卒業生が参加している。詳細は学校HPを参考にされたい。

ホームページの運用状況報告

—SSL暗号化その後の状況—
<https://tokyo-kuwano.jp/>

芳賀 雅美 (86期)
(東京桑野会ホームページ委員長)

一昨年の2023年9月に当会公式ホームページはSSL暗号化通信へ転換した。それから1年半が経過したが「安全と安心」は確保されているのだろうか。今回はSSL暗号化その後を検証する。

昨年は母校創立140周年の記念の年だったが、当会においても記念事業が実施された。コロナ禍も一段落し、通



元本校美術教員 芳賀仁美
1991/02



当時本校美術部員1年生
小嶋山茂生 (106期)
1991/02

21世紀をリードする
安積SPIRIT!

浅川 章 (76期)

〒338-0821 さいたま市桜区山久保2-18-3
電子メール: chobi@hyper.ocn.ne.jp

ごうや
山田・合谷・鈴木法律事務所

弁護士 鈴木 修一 (89期)

〒100-0012
東京都千代田区日比谷公園1番3号
市政会館1階115号室
TEL: 03-3501-0451
FAX: 03-3501-0452
E-mail: shuitisuzuki@nifty.com
<http://www.yamada-law.gr.jp>

むさしのきずな法律事務所

代表弁護士 安孫子 哲教
(115期)

〒180-0003
東京都武蔵野市吉祥寺南町2-2-5
アスコナミエビル6階
E-mail: abiko@m-k-lawoffice.jp
TEL: 0422-662-2921 / FAX: 0422-662-2923
是非お気軽にご相談ください!

常の生活を取り戻したと言ってもよい状況になったと感じる。昨年6月の記念式典と祝賀会はテーブル着席で多くの会員が集結したが、女子会員や学生会員の参加が皆無であり課題を残した。開催場所の再選定や立食ビッフェスタイルに戻すことを検討している。

さて肝心のホームページ運営状況を報告する。通信の暗号化が破られている訳ではないものの特殊詐欺をもくろむハッカー集団は、さらに技術力を増強し執拗に攻撃してくる。特にクライアントである一般会員が登録や投稿を実行するフォームを設定したプログラム（掲示板や会員データなどの入力フォーム）を、独自の検索用「スパイダーロボット」で見つけ出して悪意のある入力を試みる攻撃が頻発している。当会でもSSL化以前の過去において被害を受けたことは会報で何度か報告した。昨年はSSL暗号化後にもかかわらず、2つの掲示板で同様の事件が発生した。

SSL暗号化通信は、一般のクライアントとホームページのサーバー間で実行している通信を横から盗み取ることにに対しては遮断して保護している。しかしながら悪意を持った人物が、自身でクライアントとなって正面から接続してくる通信までは保護できない。自分が暗号キーを持ってしまうからである。サーバー内のプログラムの改ざんや破壊、保存データの抜き取りはできないものの、一般に開放しているフォームにたどり着くことは可能である。掲示板に書き込みができれば、なりすまし詐欺サイトや有害なサイトに導くことができる。うっかりクリックして閲覧してしまった一般会員に対しウイルスを送り込んだり、金品をだまし取ったり、知らない内に個人のPCを経由して悪事に加担させてしまう事件に巻き込まれてしまうことも考えら

れる。SSL暗号化転換前からこれらの対策として、サイト接続者（ホームページ閲覧者）がロボットか否か判断し、人間でなければ入力できないフォームの構造を実現してきた。ただし残念なことに、まだ完全に対策できている訳ではなく脆弱なプログラムは残っているのが現実である。ロボットも進化し、人間系でしか入力できないガードを突破しようという試みがなされるようになった。

昨年2024年4月に会員親睦の掲示板において、画像認証のパスコードを入力した上でスパム投稿される事件が2件発生した。IPアドレスによると最終的には米国からのアクセスと分かった。しかしなお、単純に経由地として利用されただけかもしれない。当初は英国の2つのIPアドレスと報告したが詳細に追跡した結果、ひとつは米国ニューヨークのチャイナタウンで、もうひとつは米国シアトル郊外の国際空港近くの住宅地からと判明した。直ちに2つのIPアドレスはブロックリストに登録しアクセスを遮断した。題目や本文中に漢字などの日本語（2バイト文字）を1字以上入れないと投稿をはじくようプログラムしていたのだが、題目に1字と本文中に2字の簡体文字（中国漢字）が使われた。画像認証のパスコードを突破したことも合わせると、ロボット攻撃というよりフォームを見つけたのはロボットだとしてもこれに入力しスパム投稿を実行したのは人間系だと推定している。投稿記事は削除したが、内容は英文で自分のサイトに誘導するリンクが貼りつけてあった。おそらく詐欺サイトであろう。IPアドレスは別々であったが、投稿内容や突破の仕組みが類似することや、2日連続の投稿だったことも考えると同一人物あるいは集団だった可能性が高い。もうひとつは昨年5

月になって、「What' New / 会からの新着ニュース」掲示板の管理パスワード入力画面にて、繰り返しパスワードを入力して突破しようとする攻撃を発見した。750回の攻撃時点で偶然発見し、この台湾からのアクセスによるIPアドレスも直ちにブロックリストに上げ、さらに突破されないよう対象の管理パスワード入力用のプログラム自身をサーバーから削除した。こちらはハッキングされる前に未然に防止できた訳であるが、突破されるとスパム投稿を実行されて、米国からのアクセスと同様に危険な状態に晒されてしまう可能性があった。

「What' New / 会からの新着ニュース」掲示板が使用できなくなったため、従来のプログラムを捨てて新規に別な掲示板を立ち上げ差し替えた。見掛けは変わったが概ね仕組みは従来と同様であり、過去記事を閲覧可能にするためアーカイブ化して別にリンクして掲載した。差し替え前の旧掲示板はセキュリティを更新しながらも20年以上ハッキングに耐えて、皆さんに情報を提供してきたのだが、このあたりでお役目御免としたのでご了解をいただきたい。さらにもうひとつ同じ5月のことであるが、4月に2件のスパム投稿された時と全く同じ掲示板に、同じく米国のIPアドレスから全く同様な書き込みが発生した。おそらく前回と同じグループと考えられ、既にこの掲示板入力フォームのURLを知っていたものと推察される。手口は全く同じで、2バイト文字である中国の簡体漢字を使っている。画像認証パスコードも突破されており、IPアドレスが違うだけで全く同一犯ではないかと考えている。

サイト内へのスパイダーロボットの巡回を避けるために、元々2つの大きな対策を立てている。一つは

がんばれ安積 がんばれ日本

渡邊 龍一郎 (81期)

Watanabe Ryuichiro

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-31-5-513
Phone : 090-1429-6127
E-mail : watanabe2021@ryu.bz

あらゆる**木質の床**を心を込めて施工します。
OK工法(床工事・内装工事)・鋼製床・乾式鋼床・フローリングボード
フローリングブロック・塗床・ネダホーム・O.A.フロアーその他一式工事

木質床(フローリング)施工

孝和建商株式会社

千葉市中央区汐見丘町16番12号

総務部 相談役 小林伸久(84期)

電話:043-245-4111 FAX:043-244-9550

携帯:080-2045-0962

E-mail:nobuhisakoba@docomo.ne.jp

晴海パートナーズ法律事務所

弁護士 後藤 大 (107期)

マネージングパートナー

〒104-0045

東京都中央区築地2-15-19

ミレニウム築地6階

E-mail: gotodai@harumi-partners.jp

「晴海パートナーズ」で検索ください

TEL: 03-6264-1588 / FAX: 03-6264-1589

ルートディレクトリ入口の「Robots.txt」、もう一つはそれぞれの頁を表示するhtmlプログラム内の「Robots回避METAタグコマンド」である。従来であれば十分に機能を果たしていたはずであった。前者はGoogleやMicrosoftなどの善良な検索ロボットを意識的に除外し、有害と認定されたスパイダーロボットを指定して設定することができる。後者は全てのロボットを回避するコマンドであり、検索ロボットに見つけて欲しい頁には設置しない。しかし近年はこれらの対策を講じて、突破してしまうロボットが出現した。例示としては「Baidu-spider (中国)」や「Go-client (米国)」が該当する。しかも複数のIPアドレスを使用し、次々と変化して攻撃してくる。始末に負えない。私個人の技術力では対抗のしようがないのが現状である。セキュリティ対策はイタチごっこになっており、ハッカー集団は資金力と人材リソースの豊富さで「セキュリティホール (脆弱点)」を必ず見つけ出すワザを有している。我こそは良い対策案を持っているという会員の方がいらっしゃいましたら、是非にも防衛隊に参加していただきたい。お力添えを強く希望する。

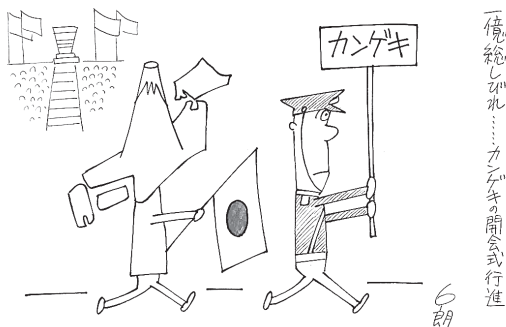
昨年6月のカドカワ身代金要求事件のニュースがあったことを覚えているだろうか。ニコニコ動画などの有料チャンネルを運営しているサイトが、突然動かなくなった。ニコ動だけでなく、カドカワの関連サイトも同様にハッキングされ大規模な障害に発展した。同社内のネットワークシステム障害にまで発展し、会社の存続にも影響を与えていたが、6月末になり某ハッカー集団から「身代金」要求があったようだ。いわゆるランサムウェアを感染させ、該社のサーバーやネットワークシステムをロックした上で解除のための金銭を要求したのである。契約などの機密情報や従業員の個人情報、楽曲やアニメーション画像などの取引先クリエイター個人情報も抜き取ったらしい。カドカワが運営する通信高校の生徒の個人情報まで流出した。とんでもない奴らだ。どんな方法でSSL化されたサイトに侵入してハッキングしたのかは詳らかではないが、警察や関係省庁は明らかにすべきだと考える。

せっかくSSL暗号化通信というセキュリティ対策を得たものの、相変わらずホームページ運営は楽ではない。運営側としては毎日ビリビリとしているのだ。いっそうのこと当会の

ホームページを完全会員制にして、それぞれの会員向けに「ユーザーIDとPW (接続パスワード)」を発行して閲覧してもらうことも考えた。しかし多くの善意の一般接続者を排除してしまうことは現実的ではない。銀行やクレジットカード会社、通販会社でもあるまいに……。さらにサーバー内に会員の個人情報を保存し管理することになり、情報漏洩時のリスクを考えると恐ろしいものがある。無償でのボランティアで活動している当会の事務局やホームページ委員会で責任を負うことはできない。完全会員制サイト運営は却下される案件である。さあ、皆さんならどうしますか。

さてサイト運営の愚痴ばかり言っても仕方がない。安積高校や安積桑野会、安積歴史博物館だってホームページを運営しているではないか。企業や公立団体のホームページだって一般接続者に広く開放している。当たり前のことであるが、ホームページを設置してそれぞれの企業や団体の価値を高めている訳である。当会においても情報発信源や会員情報の収集窓口として、重要な役割を持っている。悪意のある第三者のハッキングに畏れてばかりいては未来はない。可能な限りの新しい対策・知識を学んで設定し、日々の監視を怠ることなく、地道に活動していくことが求められている。

末筆となるが5月の攻撃後に、新たな防衛策を立案して施術した。詳細は述べないが、しっかりとブロックできているようでその後の攻撃は認められていない。皆さんどうか当会の会務執行業務に、「ホームページの運用」があることを忘れないでいただきたい。



60期 佐藤六朗 漫画家

1964年 作品

著作権は、佐藤六朗氏。2025年1月5日逝去。

新神田法律事務所

弁護士 上石利男 (80期)

〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町2-9-5 東園ビル7階
TEL03-3252-9671 / FAX03-3252-9673
E-mail: shin9671@athena.ocn.ne.jp

新神田法律事務所

奮い立て我健男児

大矢 真弘 (88期)

株式会社 櫻井計画工房
取締役 一級建築士

櫻井 淳 (78期)

郵便番号: 231-0014
住所: 横浜市中区常盤町2-10
常盤不動産ビル 2F106
TEL: 045-663-9271
FAX: 045-663-9273

令和5年度決算報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	決 算 額	予 算 額
1 収入の部		
(1) 前年度繰越金	425,673	425,673
(2) 年会費収入	968,000	620,000
(3) 寄付金収入	1,499,000	0
(4) 総会費収入	526,000	822,000
(5) 協賛広告料	310,000	290,000
(6) 受取利息	19	15
(7) 雑 収 入	0	0
収入合計	3,728,692	2,157,688
2 支出の部		
(1) 総会懇親会費	687,616	880,000
(2) 通 信 費	9,918	20,000
(3) 会 議 費	23,800	0
(4) 会報作成費	0	342,760
(5) 会報発送費	0	244,127
(6) 事務消耗品費	370	100,000
(7) 母校後援費	0	0
(8) 冠婚葬祭費	0	0
(9) 支払手数料	100,287	70,000
(10) 人 件 費	120,000	120,000
(11) 交 通 費	0	0
(12) 名簿編集費	0	0
(13) ホームページ・広報部会運営費	37,244	30,000
(14) 雑 費	2,189	10,000
(15) 予 備 費	0	10,000
支出合計	981,424	1,826,887
次期繰越金	2,747,268	330,801

令和6年度予算案

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

	予 算 額
1 収入の部	
(1) 前年度繰越金	2,747,268
(2) 年会費収入	900,000
(3) 総会費収入	1,000,000
(4) 協賛広告料	290,000
(5) 受取利息	14
(6) 雑 収 入	0
収入合計	4,937,282
2 支出の部	
(1) 総会懇親会費	1,323,900
(2) 通 信 費	20,000
(3) 会 議 費	30,000
(4) 会報作成費	342,760
(5) 会報発送費	244,127
(6) 事務消耗品費	100,000
(7) 母校後援費	0
(8) 冠婚葬祭費	0
(9) 支払手数料	100,000
(10) 人 件 費	120,000
(11) 交 通 費	0
(12) 名簿編集費	0
(13) ホームページ・広報部会運営費	37,244
(14) 雑 費	10,000
(15) 予 備 費	10,000
支出合計	2,338,031
次期繰越金	2,599,251

3 財産目録 (令和6年3月31日現在)

A 特別会計

事業準備積立金 定期預金 (三井住友銀行) 568,050

B 現預金

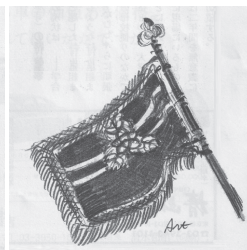
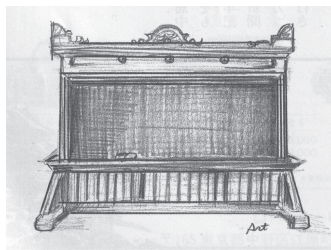
(1) 普通預金 (三井住友銀行) 1,011,477
 (2) 郵便振替貯金 2,163,764
 (3) 現 金 71,990

上記は監査の結果いずれも適正なものと認める。

令和6年5月28日

会計監査 首 藤 敬 勝

会計監査 大 原 剛



元本校美術教員 日下部正和
1995/01/30 受領

石井総合事務所

司法書士・行政書士

石井 俊一 (82期)

〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15
青柳ビル7階

TEL :03-3289-1411
FAX :03-3289-1422
E-mail : s-ishii@e-1411.com
http://www.e-1411.com

【協賛広告のお願い】

東京桑野会会報は、三千数百部を発行し、母校・安積高校や福島県立図書館などにも納入されております。“安積卒業生の心意気”を協賛広告で示してみませんか。
お問い合わせは事務局まで。

【会費納入のお願い】

東京桑野会の活動は、会員の皆様の会費によって支えられています。会報の作成・送付も会費によって賄われています。現在、会報を送付している会員からの会費納入の達成率が低迷し、東京桑野会の財務が逼迫しつつあります。東京桑野会の健全な財務状態を維持するためにも会費納入をお願いいたします。(東京桑野会は安積桑野会とは別会計となっておりますことご承知ください)

編集後記

2025年・令和7年4月8日、新製の福島県立安積中学校が開校し、60名2学級の新生入中学1年生が誕生した。新築の校舎で、新任の教師陣、新しいカリキュラム制の下で、質の高い中学校教育を実践する。変わらないのは校歌と徽章（桑の葉に桜デザイン）の「安」文字の校章で、安積高校と同一となった。校歌は元々旧制安積中学の時に作詞作曲されたものであるが、徽章だけは旧制時代の桜花に「中」文字を採用することはなかった。高校と同じく学内での制服着用はなく自由服で、正装としての安積ブレザー着用については高校と全く同様とした。新制中学校1期生はそのまま安積144期生としてカウントされ、2028年4月に高校生となった時に高校から入学してくる1年生と合流する。いささか実験校として模索の教育となるものの、男女共学化した2001年4月と同様に後戻りすることは許されない。彼らが安積を巣立つ2031年春の進路がどのように変化するのか、期待半分と不安半分で見守っていききたい。（がっちゃん）

2024年・令和6年11月28日、在京の84期（野志の会）は、コロナ禍でお休みをしていた同期会を大手町の鞍手茶屋で開催。参加者は9名でした。個室を借りることができたので、近況報告やら、昔話やらで、大いに盛り上がりました。最後はお決まりの安積高等学校校歌と紫の旗行くとを熱唱して終了しました。私が幹事役をやっています。久しぶりの鞍手茶屋。店長もすごく喜んでくれました。連絡を取った同期のメンバーに視力が落ちて夜の外出はままならないと言う人もいた事から、来年は昼飲みにする方が良さかなと考えております。今年は私の干支の年、巳年です。田舎の郡山でのクラス会の幹事も担当しております。編集後記ではなく、近況報告でした。（のぶこば）

早咲きの桜も散り、今年もまた東京

桑野会会報の季節となりましたが、皆様いかがお過ごしですか。個性溢れる変化に富む味わい深い原稿が集まり、いつもながら編集者一同執筆者の安積同窓生としてのご熱意とご協力に心より感謝申し上げます。光陰矢の如し、卒業後皆様己の信条に従い各々の進路選択を行なって、気が付けば自他共に思いがけない人生ベクトルを選び、人生航路を様々な航跡を描いて独自の作品を作り上げてこられました。笑いあり、悲しみあり、苦しみあり等々、お顔に人生の皺を刻まれ、お身体も戦いつかれて味わい深い姿を刻まれてきたものと思います。近年は寿命も延びまだまだ人生は続きますが、私達会員は皆様と共に苦楽を共にし、同窓会活動を実りある姿に仕上げ、いささかでも皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、どうぞ相変わらずのご声援とご助力をお願い申し上げます。年度始めに至り、皆様のご健康とご活躍とをお祈り申し上げます。（H.K 76期）

ご多忙中のところ「会報47号」にご寄稿くださった皆さまに心より御礼申し上げます。皆さまの玉稿を拝読させていただき、文面から、皆さまの安積愛、福島愛、今後の東京桑野会活性化への熱い想い等を感じました。若手会員が少ないことから東京桑野会が「絶滅危惧種」であると心配する方もいらっしゃるようですが、今回の玉稿を拝読する限り、それが杞憂であると認識を新たにしました。

お寄せくださった原稿の中に「開拓者精神」という言葉がありましたが、これは母校安積のメインスピリットです。今年から安積で中高一貫が始まったのもその表れで、東京桑野会もこの精神で運営すべきものです。「昔はよかった」という懐メロのサロンではなく、会員全体が未来志向になり、常にあるべき東京桑野会を模索すべきです。この会は単なる親睦団体ではなく、お互いの経験や知恵を持ち寄り、それぞれがいろいろな意味でプラスになるようなものにすべきものです。

今回の皆さんの原稿は何れも未来志向で今後の東京桑野会の活性化に資するものであります。我々一同開拓者精

神で東京桑野会を運営してまいりますので、皆さま方のお一層のご理解とご協力をお願い致します。（Y・S）

福島は日本でも名の知れた酒処であることは言うまでもないが、私も毎日の晩酌を欠かせないくらいの酒好きである。30代は休肝日をほぼ作らなかった。休肝日を作るとすれば、健康診断の前日くらいで、飲まなかった日がいつだったか思い出せないほどである。「夜の晩酌をしなければ一日が終わった感じがしない」という酒飲みの名言(?)があるが、正にその通りである。そんな自分もあつという間に40代に突入し、ここ最近健康に気を遣い始めた。週1〜2日ほど休肝日を持つ、つまり酒を飲まない日を作るという単純なことなのだが…これがなかなか続かないものである。「今日は頑張ったから飲んじゃえ」とか「明日明後日で酒を抜けばいいや」などとすぐに心が折れ、つつい酒を嗜んでしまう。何とか週1の休肝日は取れるようにはなってきたが、週2のハードルは未だ高い状況である。多くの酒好きな先輩方に聞きたい、酒はなぜこんなに美味しいのか…（T.A）

事務局よりお礼とお詫び

今年の会報をお送りします。今回、事務局の不手際により制作が大きく遅延しました。たいへん申し訳ありません。深くお詫び申し上げます。何とか定期総会前には届けられるよう、会長を始め役員や旧編集委員の手を借り最善の努力をしてみたいです。ご協力を賜った皆さまには感謝を申し上げます。母校創立150周年に向けての第一歩を踏み出しましたが、ここで躓く失態となりおおいに反省し来年に向け努力します。

昨年度は母校創立140周年記念事業を挙行了しました。記念式典と祝賀会は「目黒・雅叙園」にて盛大に、またホームページには記念頁も設置され、準備に奔走された和田正哉実行委員長を始め多くの役員・幹事の皆さまにご協力を賜りました。重ねて厚く御礼を申し上げます。（事務局：石井俊一）

『東京桑野会会報』No.47

2025年5月1日発行

発行・編集人●石井俊一

発行所●東京桑野会

〒104-0061

東京都中央区銀座八丁目8番15号

青柳ビル7階

石井総合事務所

Tel 03-3289-1411 Fax 03-3289-1422

E-mail asaka@tokyo-kuwano.jp

事務局ダイレクト

Email office@tokyo-kuwano.jp

URL <https://www.tokyo-kuwano.jp>

製作●株式会社キタジマ

〒130-0023 東京都墨田区立川2-11-7

Tel 03-3635-4510 Fax 03-3635-4515



（安積健児の像）



（思叡の森）

元本校美術教員 日下部正和
1996/01